

2014 | 12 | 2(火) 10:00-17:30

「サステナブル社会のまちづくり」国際シンポジウム 横浜会議

主催: 横浜交流会議実行委員会

後援: 国土交通省、神奈川県、NPO横浜プランナーズネットワーク、UR都市機構、日本都市計画家協会、団地再生支援協会、東京自治研究センター、文化日独コミュニティ(JGCC)

横浜会議:

ドイツに学ぶ神奈川の生活・産業・住環境の再構築

会場: 第1部から参加の方は午前10時までに「汐見台会館」に集合(下記図参照)

第2部会場は神奈川県産業振興センタービル(KIP)14階・多目的ホール

参加費: 無料(但し、資料代をいただく場合がございます※和英併記配布資料あり)

定員: 120名(県内行政職員、企業関係者、都市計画プランナー等を主体とし定員になり次第締切り)

横浜におけるセミナーでは、高度経済成長から一転して循環型低成長経済に変化しつつある日本経済を背景に、「神奈川県」の団地を中心とした都市住宅問題や産業について検証を行い、「ドイツの事例」等を参考にしながら「少子高齢社会」に入った神奈川の課題の解決策を模索したいと思えます。

なお、午後の講演・パネルディスカッションに先立ち、午前中に横浜都心臨海部の産業従業者のために神奈川県住宅供給公社が昭和35年から開発した「汐見台団地」のまち歩きを行い、「一団地の住宅経営」という当時の制度を維持したまま50年を経て再構築されている団地の現状を視察すると共に、講演を通してNRW州の事例と神奈川の現状を学び、これからの地域開発のあり方を探る議論を展開します。

プログラム

第1部「汐見台団地」まち歩き(10:00~11:30)【雨天中止】受付開始9:30~

参加者は「汐見台会館」前に集合、ガイダンス

10:30 汐見台団地のまち歩き

11:30 解散・移動

第2部 講演・パネル・ディスカッション(13:30~17:30) 受付開始13:00~

会場:(公財)神奈川県産業振興センター(KIP)ビル 14階多目的ホール

13:30 開会の挨拶 神奈川県の現状と趣旨説明(猪股 篤雄/神奈川県住宅供給公社理事長)

13:45 オリエンテーション「ドイツと日本のまちづくりの違い」(澤田 誠二/団地再生支援協会副会長)

14:15 講演1: IBAエムシャー計画とチューリンゲンプロジェクト

(H.シュトレープ/都市計画家、GRAS-Dresden事務所代表 逐次通訳:秋山 京子)

15:00 講演2: 横浜のまちづくり これからの課題について考える

(鈴木 伸治/横浜市立大学教授)

15:45 休憩

16:00 パネル 司会:原 大祐(神奈川県総合計画審議委員)

ディスカッション パネラー:鈴木 伸治、猪股 篤雄、大村 謙二郎ほか

17:00 まとめ(大村 謙二郎、H.シュトレープ、澤田 誠二)

17:30 閉会

問合せ・申込み

問合せ

関内イノベーションイニシアティブ(株) 担当:原(ハラ) Tel:045-274-8701

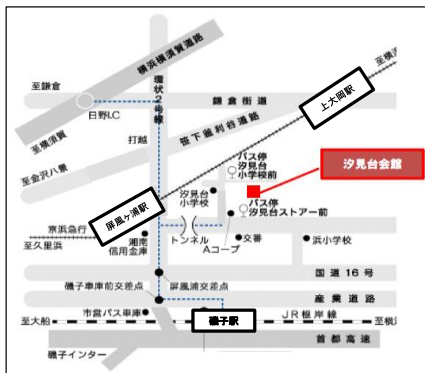
参加申込

http://massmass.jpにアクセスし、フォームより項目をご記入いただき、お申し込みください。

Mail: info@massmass.jp Fax: 045-226-4755

会場案内

第1部「汐見台会館」



会場:会議室「扇」

住所:〒235-0022 横浜市磯子区汐見台1-6

連絡先:080-3930-3401

※周辺の駐車場は非常に少ないため、なるべく電車・バスをご利用ください。

第2部「神奈川県産業振興センタービル」



会場:14階 多目的ホール

住所:〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80

会場連絡先:045-633-5019

※会場施設及び周辺に有料の駐車場がございます。



横浜市



開発当初の汐見台団地(提供:神奈川県住宅供給公社)



汐見台団地(提供:神奈川県住宅供給公社)

登壇者



H. シュトレープ氏
ドイツの都市計画家



澤田 誠二氏
団地再生支援協会
副会長



鈴木 伸治氏
横浜市立大学教授



原 大祐氏
神奈川県総合計画
審議委員



猪股 篤雄氏
神奈川県住宅供給公社
理事長